

経営比較分析表（令和2年度決算）

高知県 香美市

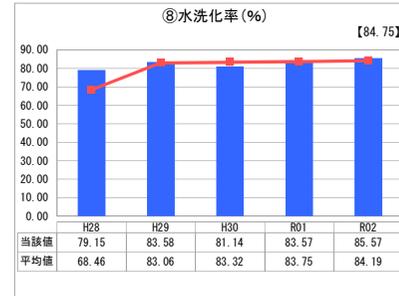
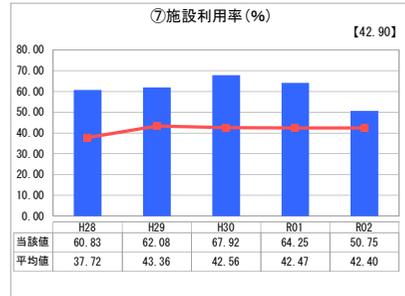
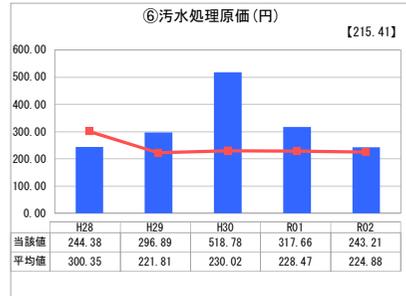
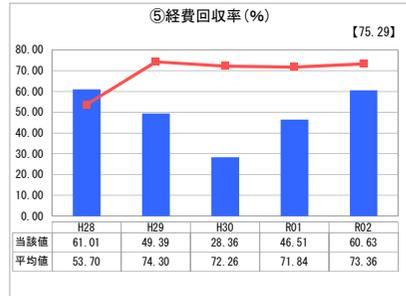
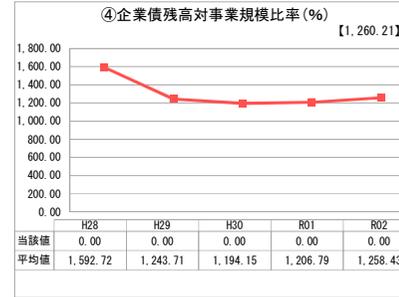
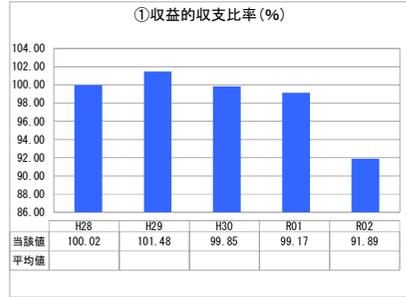
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	9.06	73.48	2,420

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,911	537.86	48.17
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,335	1.02	2,289.22

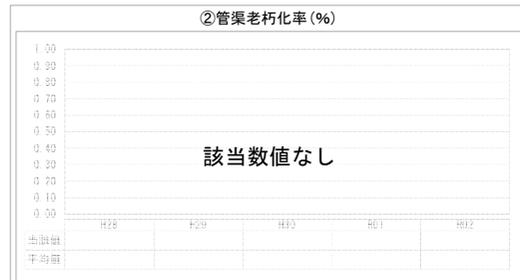
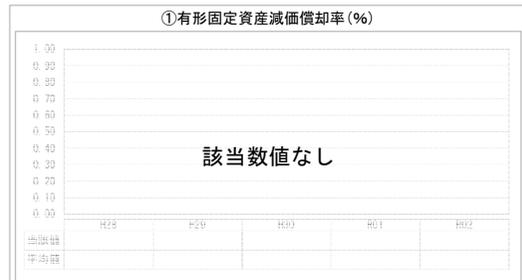
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- [] 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- R2年度の収益的収支比率については、繰越明許費と公営企業適用債の借入により100%を下回っています。
- 企業債残高対事業規模比率については、地方債償還金は一般会計からの基準内繰入金で随われており、当事業が負担しているものはない状況です。
- 経費回収率については、使用料収入で維持管理費を随っていない為、一般会計からの繰入金に依存しており、健全経営とは言えない状況となっています。
- 汚水処理原価は、処理場維持管理費の増減により、増減しています。
- 施設利用率は、不明水の流入対策を行っているため令和2年度は減少しています。
- 水洗化率は、施設等の整備も完了していることから、今後の飛躍的な上昇は見込めない状況で

2. 老朽化の状況について

平成7年事業開始、平成15年供用開始した比較的新しい施設です。平成25年度に管路や施設の整備は完了しています。また近年、伏流水が原因と推察される洗掘による管渠やマンホール周辺の陥没等が増加していることに加え、不明水の流入によってマンホールポンプや処理施設に負荷が掛かり、機械類の故障や摩耗も増加しています。これらの原因によって維持管理費が増加しているほか、有収率が低調となり、有収水量の適正確保にも支障をきたしております。不明水の対応としては、調査を行い、発見された破損箇所の管渠取替を行っています。また、管路や施設の老朽化対策として、ストックマネジメント計画（維持管理計画）に基づき、計画的に施設の更新・維持管理を行っていく予定です。

全体総括

平成25年度に面整備は終了していることから、企業債債務残高が年々減少する傾向にあります。しかしながら、下水道使用料収入の大幅な増加は見込めず、今後の経営は、大変厳しい状況となっております。今後も不明水の発生区域を特定し、対策へ取り組むとともに、接続勘契による有収水量の適正確保に努めます。

また、令和3年度から料金改定を実施し、使用水量1m³あたり税込33円を増額します。（ただし、経過措置として、令和3年4月検針分から令和4年3月検針分までは現行の料金で据え置き、令和4年4月検針分から令和9年4月検針分までは使用水量1m³あたり税込16.5円の増額となります。）今後は、適切な料金収入の確保を図りながら、経営状況の改善に努めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。